

大子町近郊少年軟式野球大会
で馬頭ラッキーが優勝

12月5日、茨城県の大子町で第6回大子町近郊少年野球大会が行われ、那珂川町から出場した馬頭ラッキーが優勝しました。

この大会には、大子町の近隣市町村の計16チームが出場し、熱戦を繰り広げました。馬頭ラッキーは、準決勝まで順当に勝ち上がり、決勝戦では、上野ホワイトナイツ(常陸大宮市)に3対2で競り勝ち、今大会3度目の優勝となりました。

また、最優秀選手には、馬頭ラッキーから鈴木涼真さんが選ばれました。



馬頭院



長泉寺

大晦日に除夜の鐘が響く

12月31日の深夜、町内各地で除夜の鐘が響き渡りました。参拝者の皆さんは思いを込めて除夜の鐘を撞くことで、また、ほかの皆さんはその鐘の音を聞くことで、この1年の自分の行いを振り返り、新たな思いで新年を迎えています。

那珂川町スポーツ少年団
新年交流会

1月10日、小川総合福祉センターで那珂川町スポーツ少年団新年交流会が開催され、6団体約180名の団員や指導者、父兄などが参加しました。

交流会では、町スポーツ少年団の小川成一本部長から「二人一人が目標を持って、今年一年頑張ってください。また、皆さんが活動できるのは、指導者やお父さん・お母さんのおかげです。感謝の気持ちを持って、それぞれの団で活動してください」とあいさつの後、団員の皆さんは、父兄が準備してくれたお餅や豚汁を美味しく食べながら、楽しく交流していました。



高齢者との交流会

1月14日、馬頭南保育園では、富山富久寿会の皆さんと蘭玉作り、輪投げやこま回し等の昔ながらの遊びで交流しました。

今では、余り見られなくなった蘭玉の由来を聞きながら、おじいさん、おばあさんたちと一緒に作り、出来上がった赤、黄、緑の綺麗な蘭玉に「今年も怪我や病気をしませんように」と願いを込めて飾りました。

また、輪投げやこま回しと一緒に遊びながら、大喜びのひと時を過ごしました。昼食のけんちん汁、おにぎりで心もお腹も暖まり「また来てね」「元気でね」と挨拶を交わし、別れを惜しんでいました。

新年の空に手作りのたこが舞う

1月5日、小川児童館でたこ作り教室が開催され、小学生や親子連れなど38名が参加しました。

子どもたちは、出来上がった千支のウサギやアニメのキャラクターの絵が書かれた自慢のたこを上げるため、寒風にも負けず元気に校庭を駆け回っていました。



祝百歳手塚キエさん

手塚キエさん(高岡)が1月9日に百歳を迎え、大金伊一町長から祝い金と花束が贈られました。手塚さんは、若い頃から和裁を仕事にしていて、家族の着る半纏や和服は全部作ってきたそうです。

働き者で家族想いの手塚さんは、忙しい家族に代わって今でも台所で洗い物をするところがあるそうで、長生きの秘訣を尋ねると「若い頃から体が丈夫で何でも食べてきたこと」とのこと。高齢のため、友だちがいなくなると寂しい時もあるが、曾孫や玄孫に出会うことができ、やさしい家族に囲まれて「長生き出来てありがとうございます」と嬉しそうに答えてくれました。

小川中学校体育館
完成記念講演会

小川中学校体育館の改築工事が完了し、新しい体育館が完成したことを記念して、1月15日、完成記念講演会が行われました。

講演会では、なす風土記の丘資料館の真保昌弘さんを講師に迎え、「水戸黄門が立てた『志・こころざし』—小川中学校生に贈る—」と題して講演が行われました。新体育館は、面積1,216㎡で旧体育館の1.4倍の広さ、内壁に八溝杉材が使用され、体育の授業や部活動のほか、社会活動の施設として使用されます。



町内各地でどんど焼き

小正月に行われる平安時代の宮中行事「左義長(さぎちょう)」が起源とされるどんど焼きが、1月9日に健武、北向田、矢又など町内各地で、14日には三和神社(三輪)で行われ、地域の皆さんは、門松や注連縄などを焼いた炎とともに歳神様を見送っていました。



三和神社



小口地区

ネイチャークラブ
雪山ハイキング

1月22日、23日の2日間の日程で、ネイチャークラブ雪山ハイキングが行われました。町内の小学3、6年生の21名が参加し、栃木カヤックセンター指導のもと、なす高原自然の家周辺で活動しました。22日は雪上歩行用具の「スノーシュー」を装着し、雪山ハイキングで自然観察を行いました。23日は斜面でのエアボードや山の中の綱渡り、ターザンごっこなど、参加した子ども達は冬の自然を満喫していました。

また22日の夕食には、うどん作りを体験し、自分達で作ったうどんに舌鼓を打っていました。



那須小川まほろば太鼓
打ち初め式



新春恒例の那須小川まほろば太鼓打ち初め式が1月9日、ふるさと館で開催され、関係者約120名が出席しました。式典では、那須小川まほろば太鼓保存会の増子育男会長が「昨年は県庁前広場で大勢の観客を前に演奏ができた、まほろば太鼓の名を県下に示すことができました。今年も皆さまのご支援を引き続きお願いします」とあいさつ。打ち手を代表して川上雅彰さんが「今年、まほろば太鼓15周年、打ち手一同精進を重ね、より一層飛躍することを約束します」と年頭の決意を宣した後、オリジナル曲「打弾」ほか8曲が披露されました。

